

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	技術の発達と対人関係		
英文授業科目名	Interpersonal Relation in High Technological Circumstances		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7(6, 8)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田中 健滋		
居室	保セ 202 教室		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kjtanaka@office.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
「甘え」理論（土居健郎）の検討を通じ、現在と過去の日常生活における対人関係を考える。さらに、これらと技術の発達との関係を検討する。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
教科書：土居健郎『「甘え」の構造』（弘文堂） 参考書：土居健郎『続「甘え」の構造』（弘文堂） ルース・ベネディクト『菊と刀』（社会思想社） 中根千枝『タテ社会の人間関係』（講談社）

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

毎回一人の発表者がテキストの担当部分について発表し、その内容について討論する。他の人はその部分をあらかじめ読んでおく。セミナーの最後に、与えられた課題について最終レポートを提出する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

以下の合計による。

- ・出席(2/3以上出席が評価の前提条件)・討論参加度 30%
- ・担当部分についての発表 30%
- ・最終レポート 40%

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

言葉や各概念の定義をとらえること。セミナーでは、遠慮なく自分の思ったことを発言すること。

【その他】